

核セキュリティを支える技術開発に係る国際シンポジウム ～核鑑識と地域間協力～(案)

1. 開催趣旨

日本原子力研究開発機構(JAEA)は、2010年の核セキュリティサミットにおける日本のコミットメントに基づき、核鑑識に関わる技術開発を実施しており基本的な技術を確立するとともに技術の高度化を進めている。IAEAが核セキュリティ体制の重要な構成要素と位置付けている核鑑識の理解増進を図るとともに、核鑑識の初動捜査における対応から核テロの発生に起因する核物質、放射性物質等の分析に至る一連の核鑑識活動に関わる技術開発について、そのニーズ、各国の取組状況について把握し今後の核鑑識技術開発に資する。また、核鑑識に係るネットワークラボやライブラリ開発、分析技術開発、人材育成など国際・地域間協力の方策について議論し、特にアジア地域の核鑑識能力の向上に資する活動の一助とする。

2. 開催概要

- (1) 開催日時:平成29年6月5日(月) 10:00～17:00
- (2) 開催場所:東京工業大学蔵前会館 くらまえホール(〒152-0033 目黒区大岡山2丁目12-1) <http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/>
- (3) 主催:国立研究開発法人日本原子力研究開発機構(JAEA)
共催(予定):国立大学法人東京工業大学 科学技術創成研究院 先端原子力研究所
後援:外務省
- (4) 対象:国内外の核物質や放射性物質の核鑑識分析(化学分析、微細構造分析等)又はライブラリ構築に関与する研究者及び技術者(研究機関、大学、メーカー)、本分野の研究開発政策立案者、規制庁(PP検査官)及び核セキュリティに関連する行政機関関係者、警察関係者等
- (5) 入場料:無料(事前申込制)
- (6) 言語:日本語・英語(日英同時通訳有り)

3. プログラム

- (1) レジストレーション:(9:20～10:00)
- (2) 開会挨拶:(10:00～10:20)

JAEA

文部科学省

(3) 招待講演:(10:20～11:20)

- ① 放射化学の現状と将来について(仮題):原子力委員
- ② JRC における原子力関係の研究開発と日本との協力について(仮題): EC/JRC

(4) 基調講演:核鑑識技術開発のニーズ、日本の取組(11:20～12:10)

核鑑識の技術開発

- ① 国際的な核鑑識技術の現状と技術開発ニーズ:IAEA
- ② 日本(JAEA)の取組: JAEA

昼食休憩(60分)(12:10～13:10)

(5) パネル討論1:核鑑識技術開発ニーズと今後の展開(13:10～14:50)

モデレータ: EC/JRC

パネリスト:オランダ鑑識研究所、米国 DHS、警察庁科学警察研究所、JAEA

イ) 具体的な議論のトピックス

- ① 研究開発の現状と課題、ニーズ
- ② 持続可能性のある技術開発の展開

休憩(25分)(14:50～15:15)

(6) パネル討論 2:核鑑識のネットワーク化(国際・地域間協力)(15:15～16:55)

モデレータ: JAEA

パネリスト:GICNT、IAEA、韓国 KINAC、タイ OAP

イ) 具体的な議論のトピックス

- ① 国際・地域間協力の取組状況と新興国側のニーズ
- ② ネットワークラボ、ライブラリ開発、分析技術開発、人材育成などに関わる国際・地域間協力に対する方策と関係機関の相互協力

閉会挨拶(16:55～17:00)

東京工業大学

(以上)